

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和7年度 第3回相模原市経営評価委員会		
事務局 (担当課)		経営監理課 電話042-769-9240 (直通)		
開催日時		令和8年3月18日(水) 午後6時30分～午後8時30分		
開催場所		相模原市役所 本庁舎本館2階 第1特別会議室		
出席者	委員	8人(別紙のとおり)		
	事務局	5人(政策部長、経営監理課長、同主幹、同総括副主幹、同主査)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 議事 (1) 委員・事務局の紹介 (2) 委員長及び副委員長の選任について (3) さがみはら都市経営戦略に掲げる基本戦略及び取組に係る評価方法について 3 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

定足数及び傍聴者の確認を行い、経営評価委員会を開会した。

2 議事

(1) 委員・事務局紹介

名簿順に各委員による自己紹介の後、事務局の出席者の紹介を行った。

(2) 委員長・副委員長選任

相模原市経営評価委員会規則第3条第2項の規定に基づき、委員の互選により、朝日委員が委員長に、田中委員が副委員長に選任された。

(3) さがみはら都市経営戦略に掲げる基本戦略及び取組に係る評価方法について

経営監理課長より、さがみはら都市経営戦略、資料1－1、資料1－2、資料1－3及び資料1－4に基づき説明を行った。

(以下、質疑応答・意見交換 ○は委員の発言、●は市及び事務局の発言)

- 評価のスケジュールは毎年度同じなのか。(新津委員)
- そのとおり。(経営監理課主幹)
- 経営評価委員会で行う評価は、何回の開催で確定する想定なのか。(朝日委員長)
- 少なくとも2回は必要だと考える。(経営監理課主幹)
- 1回の委員会で7区分すべて評価していくのか、それとも区分ごとに分けて評価をしていくのか。(朝日委員長)
- 評価の進め方については、今後議論していきたい。(経営監理課主幹)
- 8月から9月に次年度予算へ反映と記載されているが、7月からそこまで評価を確定させるのか。(田中副委員長)
- 8月から9月は目安であり、次年度予算に間に合うように評価を確定させたい。(経営監理課主幹)
- 実際に評価する際は、1次評価の情報を事前に見る時間が相当程度必要であることから、その時間を確保するよう要望する。(朝日委員長)
- 評価はA・B・Cのようにするのか、それとも文章でするのか。(田中副委員長)
- 総合計画の評価についてはA・B・C区分での評価をやめているので、同様に文章での評価を想定している。しかし、経営評価委員会としてA・B・Cのような区分での評価が必要ということであれば、それも可能であるとする。(経営監理課主幹)
- 評価したものは、市民にも分かりやすく伝える必要がある。(宮下委員)

- 総合計画の評価と戦略の評価はどのような関係なのか。(宮下委員)
- 本戦略において、参考指標としている総合計画の指標については、総合計画の審議会で審議・評価を行い、その結果を経営評価委員会に情報共有させていただく。その際、経営評価委員会においても、その取組について評価することは2重での評価になってしまうため、あくまでも情報共有するものである。(経営監理課主幹)
- 経営評価委員会における戦略の評価は、総合計画の評価と異なり、ヒト・モノ・カネ・情報といった視点で評価する必要があるという認識のため、評価は難しい。総合計画の評価とどのように異なるのか、その違いを情報提供して欲しい。(朝日委員長)
- これから行う評価は2025年度予算の取組を2026年度に評価を行い、2027年度の予算に反映させるということで良いか。(仲尾委員)
- そのとおり。(経営監理課主幹)
- 取組1－6については、人を本市に呼び込みたいという意図だと認識しているが、その指標が「思っている」人の割合としていることに違和感がある。思ってもらっているだけでは意味がないのではないかと。また、アンケートなどは、問い方や調査対象によって得られる結果が変わってくるので注意が必要である。(新津委員)
- 定量的な指標で評価できれば良いが、アウトカム指標は定性的なものになってしまうのが現状である。しかし、こうした指標が必要かどうかも含めて、今後、議論の中でご意見をいただきたい。(政策部長)
- 評価の指標はもう決まっているものなので、市としてなぜこの指標を設定したのか、経緯や背景などを必要に応じて情報提供して欲しい。(朝日委員長)
- 経営評価委員会のレイアウトだが、委員同士の距離が遠いので、発言しやすい委員会の進め方・やり方を考慮して欲しい。(小関委員)
- 次回は委員同士の距離を縮めたレイアウトにしたい。(政策部長)
- 戦略にあって、総合計画に載っていないポイントが何かを見せると分かりやすいのではないかと。また、市は色々なデータを保有しているので、評価するに当たり、関連するデータを情報提供して欲しい。(宮下委員)
- マーケティング課が持っている情報を共有していきたい。(政策部長)
- 評価する際には、相模原市と同規模の自治体の状況があると参考になるのではないかと。(田中副委員長)
- 中山間地域とはどこか。(仲尾委員)
- 旧津久井町、旧相模湖町、旧藤野町である。(経営監理課主幹)
- 本戦略策定時に行ったアンケートについてだが、この回答数で72万人の市民の意見を反映したと言えるのか。アンケートの回答については、記述もあったのか。また、選択式の設問はどのような選択肢があったのか。(大木委員)
- 統計法上、本市の場合は300人程度の回答があれば基準を満たしているとされている。アンケートの内容については、後日送付する。(政策部長)
- 統計法上は満たしていることは理解するが、こういったアンケートに学生や若者が参加しているイメージがない。高齢者など時間に余裕がある人の回答がメインとなっ

ており、そのような方の意見しか反映していないのではないか。(鈴木委員)

- 本アンケートについては、年代ごとの無作為抽出といった手法で行っていないため、指摘のようなことはあると思う。(政策部長)
- 本アンケートについては、包括連携協定を締結している大学やはたちの集いにおいても周知を行っており、若い世代の回答を得る努力をしていたが、そこは課題である。(朝日委員長)
- 基本戦略3については、総合計画にはない新しいテーマを盛り込めた。しかし、評価をすることは難しいと思う。現在、国の地方制度調査会で、国・都道府県・市町村の役割や大都市地域における地方制度の在り方について審議しており、2027年に方向性が示される予定である。そこでの議論も踏まえて、経営評価委員会で議論すると良いと思うので、そういった情報も委員に分かりやすく情報提供していただけると良いのではないか。(宮下委員)

3 閉会

全ての審議が終了し、閉会した。

以 上

相模原市経営評価委員会委員名簿

(任期：令和7年7月15日～令和9年7月14日)

区分	役職	氏 名	備 考	出欠
学識	委員長	あさひ 朝日 ちさと	東京都立大学都市環境学部 教授	出席
	副委員長	たなか ひろゆき 田中 啓之	相模女子大学人間社会学部 教授	出席
		みやした ともひさ 宮下 量久	東洋大学経済学部 教授	出席
		なかお 仲尾 あかね	公認会計士	出席
団体		おおき めぐみ 大木 恵	相模原市自治会連合会 会長	出席
		あずま まさみ 東 正充	相模原商工会議所 青年部会長	欠席
一般 公募		こせき りつこ 小関 律子	公募	出席
		すずき こうた 鈴木 幸太	公募	出席
		あらつ べに 新津 紅	公募	出席

(区分ごとに五十音順・敬称略)